

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

茅野市国民健康保険診療所特別会計【茅野市】

事務事業名	リバーサイドクリニック診療所事業	事業期間	平成 13 ~ 年度	整理番号	03080101
担当部署	健康福祉部	リバーサイドクリニック	管理業務係	作成担当者名	岩波 貞男
				連絡先	72-7010

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	無	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 06 第6節 地域医療の充実			
			細施策 01 地域医療の推進			
			事務事業 03 病診連携・診診連携の促進事業			
	予算事業名	茅野市国民健康保険診療所特別会計			会計コード 014 款 01 項 01 目 01 事業	
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	診療所を設置し、市立の無床診療所として地域の中核病院との機能分担・連携を行うなかで、日常病の診療・慢性疾患の管理・在宅医療を中心に担い、市民の健康保持に必要な医療及び介護等を提供する。					
現状と背景 （どうして）	無床診療所として外来診療に加え、訪問診療・夕方診療等を行っているが、少子化及び医療の冬の時代を迎える中で、独立採算の公営企業診療所として将来に向けて経営していける基盤を固めたい。					
目的 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	対象 （ 誰 の た め に ）	健康保持に必要な医療及び介護等を必要とする者。				
	対象 （ 直 接 働 き か け る ）	健康保持に必要な医療及び介護等を必要とする者。				
手段・方法 （ ど う や っ て ）	新規（初診）の外来患者数を増やす事により、外来収益の確保を図り、公営企業会計の診療所として、より経営の健全化を図る。					
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		外来患者を増やす	1日当たりの平均患者数	人	延患者数 ÷ 診療日数	76
		日当点を増やす	1人1日当たりの日当点	点	外来収益 ÷ 延患者数	708
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		外来収益	外来収益	千円		158,397
	医療利益	医療利益	千円	医療収益 - 医療費用	8,344	

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円	98,760,959	98,503,465	107,002,967	91,488,576	97,231,000	
財源内訳							
国庫支出金	円	1,050,000	1,050,000			1,080,000	
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円		12,032,000	13,778,000	18,120,000	22,821,000	
一般財源	円	97,710,959	85,421,465	93,224,967	73,368,576	73,330,000	
職員数	人						
正規職員	人	4.84	2.64	3.42	3.84	3.84	
嘱託職員	人	1.81	1.81	2.00	2.00	2.00	
臨時職員	人	2.60	3.02	2.86	3.49	3.49	
合計	人	9.25	7.47	8.28	9.33	9.33	
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)	人	16,922	18,813	19,045	18,482	19,272	
単位コスト (a)/(b)	円	5,836	5,236	5,618	4,950	7,156	
受益者負担額	円	30,616,980	22,848,735	24,315,371	22,710,748	22,711,000	
市民一人当たりのコスト	円	1,759.00	1,760.00	1,911.00	1,634.00	2,464.00	
活動指標	1日当たりの平均患者数	目標	75	72	65	76	66
		実績	58	64	66	62	
	達成率	77.07	88.89	101.54	81.58		
	1人1日当たりの日当点	目標	733	718	727	708	692.00
実績		693	671	695	693		
達成率	94.54	93.45	95.60	97.88			
成果指標	外来収益	目標	161,142	152,134	138,456	158,397	133,420.00
		実績	117,353	126,370	135,811	128,160	
	達成率	72.83	83.06	98.09	80.91		
	医療利益	目標	1,822	1	1	8,344	1,014
実績		(21,063)	(2,800)	(3,280)	(2,766)		
達成率	-1,156.04	-280,000.00	-328,000.00	-33.15			
備考							

事務事業名	リバーサイドクリニック診療所事業	事業期間	平成 13 ~	年度	整理番号	03080101	
担当部署	健康福祉部	リバーサイドクリニック	管理業務係	作成担当者名	岩波 貞 男	連絡先	72-7010

四 半 期 と の 管 理	期	目 標	実 績	課 題
	第1期			
	第2期			
	第3期			
	第4期			

事 中 評 価

当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充	②	⑤	⑦
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		現 状 維 持	③	⑥	⑨
		縮 小	④	⑧	⑩
		休 廃 止	①		
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度 当年度

評 価 課 題 C	視 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	評価の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
	チェック				レ	3	3		レ		3			レ	電子 化等	3	
課題	平成19年度の医師1名退職後の患者数減少が影響し収入減となっている。平成22年度に電子カルテを導入したことによるリース料の増加が費用面からの赤字の主な原因であり、このリース料の支払いは本年度の5月で終了するが、公営企業法の改正により減価償却が28年度まで必要となる。小規模な診療所ではあるが公営企業会計方式の独立採算であるため患者数の確保により早急に従来の健全（黒字）経営への転換をはかりたい。また、平成25年度より、電子カルテリース料と医療機器購入費の1/2、北山診療所の赤字相当額について一般会計より初めて補助をいただいているので、これにより診療所の経営基盤の強化をはかりたい。妥当性：平成19年度以降患者数が減少し市民ニーズが低下しているが、25年度より循環器系の医師による外来診療を始めたことにより患者数が回復している。また、高齢の在宅患者の往診ニーズは高まっている。有効性：診療内容、対象患者を再考することで収益を確保することが可能と考える。効率性：電子カルテの効率的な運用により人件費の削減等の余地が残されている。																
	記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要																
	前年度総合評価判定 B																
	前年度評価シート整理番号 03080101																

H E C K 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	平成13年度の診療所開設以来、平成20年度と22、23、24年度に於いて赤字決算となった。公営企業会計方式を採用しているが全国の自治体立の診療所の多くが一般会計方式であることを考えれば、四度の赤字額には減価償却額が含まれる数値であったことも考慮されたい。平成25年度からは患者数の増と一般会計からの補助により黒字決算となっている。地域の患者さんへの安定した医療の提供は、安定した経営基盤があってこそ可能であり、また、収益の確保による経営的な余力が患者サービスにつながることであり、医療の質の更なる向上と患者数の確保とともに健全経営に努めたい。									
	前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 A C T I O N	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	成 果 的 拡 充	②	⑤	レ	⑦	成 果 的 拡 充				
	現 状 維 持	③	⑥		⑨	現 状 維 持			レ	
	縮 小	④	⑧		⑩	縮 小				
	休 廃 止	①				休 廃 止				
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				

改革・改善策	対象患者の再考として外部施設等の嘱託医となること等を実施し、その初診患者数の増により患者数の増を目指す。公営企業会計の診療所としてより経営の健全化を図り、患者サービスに努める。成果（収益）については患者数の増による収益増を目指し、コスト（費用）については電子カルテの効率的な運用により人件費等の削減に努める。年度内に於いて、1日平均患者数76人を確保する。	対象患者の再考として外部施設等の嘱託医となること等を実施し、その初診患者数の増により患者数の増を目指す。公営企業会計の診療所としてより経営の健全化を図り、患者サービスに努める。成果（収益）については患者数の増による収益増を目指し、コスト（費用）については電子カルテの効率的な運用により人件費等の削減に努める。次年度に於いては、さらに1日平均患者数を確保する。
--------	--	---

最終評価年月日	平成28年3月31日	最終評価責任者	リバーサイドクリニック所長	安 藤 親 男
---------	------------	---------	---------------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

茅野市国民健康保険診療所特別会計【茅野市】

事務事業名	泉野診療所事業（出張診療所）	事業期間	平成 13 ~ 年度	整理番号	03080102
担当部署	健康福祉部	リバーサイドクリニック	管理業務係	作成担当者名	岩波 貞男
				連絡先	72-7010

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	無	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 06 第6節 地域医療の充実			
			細施策 01 地域医療の推進			
			事務事業 03 病診連携・診診連携の促進事業			
	予算事業名	茅野市国民健康保険診療所特別会計			会計コード 014 款 01 項 01 目 01 事業 一	
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	診療所を設置し、市立の無床診療所として地域の中核病院との機能分担・連携を行うなかで、日常病の診療・慢性疾患の管理・在宅医療を中心に担い、市民の健康保持に必要な医療及び介護等を提供する。					
現状と背景 （どうして）	地理的に交通の便が悪く、常時診療をしている医療機関への通院困難を解消するために出張診療所を開設して医療サービスの提供に努めているが、平成15年の診療報酬改定により日当点が下がった為、赤字経営となっている。					
目的	対象 （誰のために）	健康保持に必要な医療及び介護等を必要とする者。				
	対象 （直接働きかける）	健康保持に必要な医療及び介護等を必要とする者。				
的	意図 （どんな状態にしたいか）	外来患者数を増やす事により外来収益の確保を図り、公営企業会計の出張診療所であることから、より経営の健全化を図る。				
手段・方法 （どうやって）	通院患者は高齢者が主な為患者数の増をはかるのは難しいが、医師の判断による定期受診勧告等により受診者を増やし外来患者数の増をはかる。					
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		外来患者を増やす	1日当たりの平均患者数	人	延患者数 ÷ 診療日数	10
		日当点を増やす	1人1日当たりの日当点	点	外来収益 ÷ 延患者数	590
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		外来収益	外来収益	千円		3,009
		医療利益	医療利益	千円	医療収益 - 医療費用	1

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）		
事業費等 (a)	円	2,014,013	2,054,293	2,183,906	2,444,435	2,598,000		
財源内訳								
国庫支出金	円							
県支出金	円							
地方債	円							
その他特定財源	円							
一般財源	円	2,014,013	2,054,293	2,183,906	2,444,435	2,598,000		
職員数								
正規職員	人	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16		
嘱託職員	人							
臨時職員	人	0.24	0.25	0.25	0.25	0.25		
合計	人	0.40	0.41	0.41	0.41	0.41		
対象（者）数								
延利用（者）数 (b)	人	502	493	459	440	470		
単位コスト (a)/(b)	円	4,012	4,167	4,758	5,556	9,080		
受益者負担額	円	394,690	316,860	278,430	330,980	331,000		
市民一人当たりのコスト	円	36.00	37.00	39.00	44.00	76.00		
D O （ ）	活動指標	1日当たりの平均患者数	目標	人	10	10	10	
			実績	人	10	10	9	8
	達成率	%	100.00	104.17	100.00	80.00		
	1人1日当たりの日当点	目標	点	544	522	582	590	631.00
		実績	点	501	608	666	666	
	達成率	%	92.10	116.48	114.43	112.88		
成果指標	外来収益	目標	千円	2,722	2,667	2,672	3,009	2,966.00
		実績	千円	2,506	2,998	2,974	2,931	
達成率	%	92.06	112.41	111.30	97.41			
医療利益	目標	千円	1	1	1	1	1	
	実績	千円	(4,760)	(1,204)	(859)	(919)		
達成率	%	-476,000.00	-120,400.00	-85,900.00	-91,900.00			
備考								

事務事業名	泉野診療所事業（出張診療所）	事業期間	平成 13 ~	年度	整理番号	03080102	
担当部署	健康福祉部	リバーサイドクリニック	管理業務係	作成担当者名	岩波 貞 男	連絡先	72-7010

四 半 期 と の 管 理	期	目 標	実 績	課 題
	第1期			
	第2期			
	第3期			
	第4期			

事 中 評 価

当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充	②	⑤	⑦
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		現 状 維 持	③	⑥	⑨
		縮 小	④	⑧	⑩
		休 廃 止	①		
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度 当年度

評 価 課 題 （ C H E C K ）	視 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定				
	評価の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定					
	チェック				レ	3	3		レ		3	レ				電子 化等		2			
課題	<p>現在赤字経営ではあるが、診療報酬が改定される以前の平成14年度までは黒字経営であり、無医地区での出張診療を望む患者さんがいるかぎり診療所を廃止することは出来ない。また、現在のところ他の医療機関（民間）が関与する可能性は無い。平成21年度からは健診室を新たに整備し、泉野地区に於ける特定健診等の受診率の向上もはかり患者サービスに努めている。受診者数の増により患者数を確保し、独立採算の公営企業診療所の出張診療所として最低限でも収支均衡を維持したい。妥当性：地区の対象者は徐々に減少しており、市民ニーズは低下している。有効性：出張診療所での診療内容を見直す（特定健診等の開始）ことで収益増をはかることが可能と考える。効率性：民間の医療機関が関与することは可能であるが、現実として手上げをする医療機関は無いと考える。</p>																				
		前年度総合評価判定					C					前年度評価シート整理番号					03080102				

総 合 評 価 （ C H E C K ）	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後														
	<p>現在赤字経営ではあるが、診療報酬が改定される以前の平成14年度までは黒字経営であり、無医地区での出張診療を望む患者さんがいるかぎり診療所を廃止することは出来ない。また、現在のところ他の医療機関（民間）が関与する可能性は無い。平成21年度からは健診室を新たに整備し、泉野地区に於ける特定健診等の受診率の向上もはかり患者サービスに努めている。健診等による受診者数の増により患者数を確保し、独立採算の公営企業診療所の出張診療所として最低限でも収支均衡を維持する。</p>										<p>現在赤字経営ではあるが、診療報酬が改定される以前の平成14年度までは黒字経営であり、無医地区での出張診療を望む患者さんがいるかぎり診療所を廃止することは出来ない。また、現在のところ他の医療機関（民間）が関与する可能性は無い。平成21年度からは健診室を新たに整備し、泉野地区に於ける特定健診等の受診率の向上もはかり患者サービスに努めている。健診等による受診者数の増により患者数を確保し、独立採算の公営企業診療所の出張診療所として最低限でも収支均衡を維持する。</p>									
	前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性														

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 （ A C T I O N ）	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	成 果 的 拡 充		②	⑤	⑦	成 果 的 拡 充					
	現 状 維 持		③	レ	⑥	⑨	現 状 維 持			レ	
	縮 小		④		⑧	⑩	縮 小				
休 廃 止	①					休 廃 止					
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
<p>平成21年度からは健診室を新たに整備し、泉野地区に於ける特定健診等の受診率の向上もはかり患者サービスに努めている。成果（収益）については現状を維持し、コスト（費用）についてはより削減に努めている。健診受診者数の増により患者数を確保し（1日平均10名）、独立採算の公営企業診療所の出張診療所として最低限でも収支均衡を維持する。</p>					<p>平成21年度からは健診室を新たに整備し、泉野地区に於ける特定健診等の受診率の向上もはかり患者サービスに努めている。成果（収益）については現状を維持し、コスト（費用）についてはより削減に努めている。健診受診者数の増により患者数を確保し（1日平均10名）、独立採算の公営企業診療所の出張診療所として最低限でも収支均衡を維持する。</p>						

最終評価年月日	平成28年3月31日	最終評価責任者	リバーサイドクリニック 安藤 親 男
---------	------------	---------	--------------------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

茅野市国民健康保険診療所特別会計【茅野市】

事務事業名	北山診療所事業	事業期間	平成 24 ~ 年度	整理番号	03080103
担当部署	健康福祉部	リバーサイドクリニック	管理業務係	作成担当者名	岩波 貞男
				連絡先	72-7010

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	無	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 06 第6節 地域医療の充実			
			細施策 01 地域医療の推進			
			事務事業 03 病診連携・診診連携の促進事業			
	予算事業名	茅野市国民健康保険診療所特別会計			会計コード 014 款 01 項 01 目 01 事業 一	
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	診療所を設置し、市立の無床診療所として地域の中核病院との機能分担・連携を行うなかで、日常病の診療・慢性疾患の管理・在宅医療を中心に担い、市民の健康保持に必要な医療及び介護等を提供する。					
現状と背景 （どうして）	平成24年8月より茅野市立の診療所として北山診療所を再開し、市内中心地から遠く、医療機関への通院困難を解消するために医療サービスの提供に努めているが、平成26年9月までは常勤医師の確保が出来なかった。平成26年10月からは常勤医師が配置され徐々に患者数は増えてきているが、現在では旧診療所の患者数には届かず、赤字経営となっている。					
目的	対象 （誰のために）	健康保持に必要な医療及び介護等を必要とする者。				
	対象 （直接働きかける）	健康保持に必要な医療及び介護等を必要とする者。				
的 意 図 （どんな状態にしたいか）	外来患者数を増やす事により外来収益の確保を図り、公営企業会計の出張診療所ではあることから、より経営の健全化を図る。					
手段・方法 （どうやって）	平成26年10月から常勤医師が確保出来、常設の診療所としての機能が整ったことから、さらに地域への周知を行い、高齢化社会を迎える中での訪問診療等の在宅医療をPRすることで外来患者数の増をはかりたい。また、別荘地も控えることから、公報等による周知も行いたい。					
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		外来患者を増やす	1日当たりの平均患者数	人	延患者数 ÷ 診療日数	10
		日当点を増やす	1人1日当たりの日当点	点	外来収益 ÷ 延患者数	698
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		外来収益	外来収益	千円		16,891
		医療利益	医療利益	千円	医療収益 - 医療費用	1

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算又は決算額）	平成28年度事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円	4,855,828	10,896,754	19,592,354	25,669,748	16,282,000	
財源内訳							
国庫支出金	円		1,879,000	1,080,000			
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円		7,249,000	2,913,000	3,338,000	124,000	
一般財源	円	4,855,828	1,768,754	15,599,354	22,331,748	16,158,000	
職員数							
正規職員	人	0.14	0.20	0.42	1.00		
嘱託職員	人					1.00	
臨時職員	人	0.14	0.20	0.79	2.00	2.00	
合計	人	0.28	0.40	1.21	3.00	3.00	
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)	人	219	388	580	2,748	3,159	
単位コスト (a)/(b)	円	22,173	28,084	33,780	9,341	7,168	
受益者負担額	円	394,690	371,124	1,739,530	3,394,550	3,395,000	
市民一人当たりのコスト	円	86.00	195.00	350.00	459.00	404.00	
活動指標	1日当たりの平均患者数	目標	10	5	13	10	13
		実績	6	8	6	11	
	達成率	64.00	162.00	46.15	110.00		
	1人1日当たりの日当点	目標	544	400	594	698	823.00
		実績	348	409	675	831	
	達成率	63.97	102.25	113.64	119.05		
—	目標	—	—	—	—		
実績	—	—	—	—	—		
達成率	—	—	—	—	—		
成果指標	外来収益	目標	千円 2,722	千円 2,860	千円 15,552	千円 16,891	千円 26,024.00
		実績	千円 758	千円 2,109	千円 8,703	千円 22,833	
	達成率	27.85	73.74	55.96	135.18		
	医療利益	目標	千円 1	千円 1	千円 1	千円 1	千円 1
実績		千円 (4,772)	千円 (5,238)	千円 (17,284)	千円 (11,969)		
達成率	-477,200.00	-523,800.00	-1,728,400.00	-1,196,900.00			
備考							

事務事業名	北山診療所事業	事業期間	平成 24 ~	年度	整理番号	03080103	
担当部署	健康福祉部	リバーサイドクリニック	管理業務係	作成担当者名	岩波 貞 男	連絡先	72-7010

四 半 期 と の 管 理	期	目 標	実 績	課 題			
	第1期						
	第2期						
	第3期						
	第4期						
<b>事 中 評 価</b>							
		当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 後 の 方 向 性	充 充	②	⑤	⑦
		新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		現 状 維 持	③	⑥	⑨
				縮 小	④	⑧	⑩
				休 廃 止	①		
				皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度		当年度												総合評価判定								
視 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総合評価判定						
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定							
評価の観点																	<b>B</b>					
チェック				レ	3	3			レ	3					電子化等	4						
課 題	平成24年8月より茅野市立の診療所として北山診療所を再開し、市内中心地から遠く、医療機関への通院困難を解消するために医療サービスの提供に努めているが、平成26年9月までは常勤医師の確保が出来なかった。平成26年10月からは常勤医師が配置され徐々に患者数は増えてきているが、現在では旧診療所の患者数には届かず赤字経営となっている。現在のところ他の医療機関（民間）が関与する可能性は無く、無医地区での診療を望む患者さんがいるかぎり診療所を廃止することは出来ないと考えている。近隣には以前受診していた患者さんも多く、常勤医師が確保出来たことによる受診者数の増により患者数を確保し、独立採算の公営企業診療所の出張診療所として最低限でも収支均衡を維持したい。妥当性：地区からは常時受診可能な診療所の希望があり、市民ニーズはあると考えている。有効性：常勤医師の確保と診療機器等を充実することで収益増をはかることが可能と考える。効率性：電子化等の事務改善、調達費用、委託先の見直し等によって事業費及び／又は人件費（所要時間）の削減の余地が残されている。															記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要					
前年度総合評価判定																<b>B</b>						
前年度評価シート整理番号																03080103						
総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後																
	現在のところ他の医療機関（民間）が関与する可能性は無く、無医地区での診療を望む患者さんがいるかぎり診療所を廃止することは出来ないと考えている。近隣には以前受診していた患者さんも多く、常勤医師の確保により患者数を確保し、公営企業診療所として最低限でも収支均衡を維持したい。										平成26年10月より常勤医師が勤務する常設診療所として診療が可能となり、患者数は徐々に増えている。高齢化する社会の中で往診患者や夕診患者の増を図るとともに、無医地区での診療所としての存在感を高めたい。近隣には旧北山診療所に受診していた患者さんも多く、常勤化による患者数をさらに確保し、公営企業診療所として最低限でも収支均衡を維持したい。											
	前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性																

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後														
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定										
成果の方向性	充 充					充 充														
現状維持																				
縮 小																				
休 廃 止	①																			
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性																				
改 革 ・ 改 善 策	平成25年度にはレントゲン室を新たに整備し、翌年度では血液検査装置も導入し医療機器の充実をはかった。平成27年度では電子カルテを導入する予定であり、今後、稼働と共に業務改善をはかりたい。平成26年度後期から常設診療所となったことから、成果（収益）については患者数増による拡大を目指し、コスト（費用）についても、患者数増に伴う最低限の費用増としたい。常勤医師の定着により患者数を確保し（1日平均15名）、独立採算の公営企業診療所の出張診療所として最低限でも収支均衡を維持する。										平成26年10月より常勤医師が勤務する常設診療所として診療が可能となった。平成25年度にはレントゲン室を新たに整備し、前年度に於いても血液検査装置を導入し医療機器の充実を図っている。地域への周知により患者数の増を図りたい。また、今年度末に導入した電子カルテの今後の稼働により業務改善もはかりたい。成果（収益）については患者数増による拡大を目指し、コスト（費用）についても、患者数増に伴う最低限の費用増としたい。常勤医師が確保されたことにより更に患者数を確保し（1日平均15名）、独立採算の公営企業診療所の出張診療所として最低限でも収支均衡を維持する。									

最終評価年月日	平成28年3月31日	最終評価責任者	リバーサイドクリニック所長	安 藤 親 男
---------	------------	---------	---------------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	かかりつけ医推進事業	事業期間	平成 27 ~ 28 年度	整理番号	03020117
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	森井潤	連絡先
					326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 06 第6節 地域医療の充実			
			細施策 01 地域医療の推進			
			事務事業 04 かかりつけ医推進事業			
	予算事業名			会計コード 001 款 項 目 事業		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	疾病を持つと医療機関を受診するが、比較的軽症な場合は開業医を利用することから、一人ひとりが「かかりつけ医」を持ち各医療機関の機能分担による医療機関（病診連携・診診連携）の役割分担と受診者と医療機関とのコミュニケーションを図る必要性から、医療機関の紹介を行い啓発する。				
	現状と背景 （どうして）	同上				
	目的	対象	受益者 （誰のために）	市民		
		対象	対象 （直接働きかける）	市民		
	的	意図 （どんな状態にしたいか）	一人ひとりが「かかりつけ医」を持つ			
	手段・方法 （どうやって）	健康カレンダーを始めとする市からの「広報」等の媒体を利用した啓発				
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		医療機関の紹介の啓発回数	周知媒体を利用した回数	回		1
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
実 施 状 況	事業費等 (a)	円					
	財源内訳						
	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円					
職員数	正規職員	人	0.01	0.01	0.01	0.01	
	嘱託職員 臨時職員	人					
	合計	人	0.01	0.01	0.01	0.01	
状況	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)						
状況	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受益者負担額	円					
状況	市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	-
	活動指標	周知媒体を利用した回数	目標	1	1	1	1
実績			1	1	1	1	
達成率		%	100.00	100.00	100.00	100.00	-
-		目標	-				
	実績	-					
達成率	%	-	-	-	-	-	
成果指標	-	目標	-				
		実績	-				
達成率	%	-	-	-	-	-	
成果指標	-	目標	-				
		実績	-				
達成率	%	-	-	-	-	-	
備考							

事務事業名	かかりつけ医推進事業	事業期間	平成	~	年度	整理番号	03020117
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	森井潤	連絡先	326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	ホームページへ掲載している、医療機関一覧の更新。	医療機関一覧のデータ確認。	特にありません。
第2期	ホームページへ掲載している、医療機関一覧の更新。	医療機関一覧のデータ確認。	特にありません。
第3期	ホームページへ掲載している、医療機関一覧の更新。	医療機関一覧のデータ確認。	特にありません。
第4期	ホームページへ掲載している、医療機関一覧の更新。	医療機関一覧のデータ確認。	特にありません。

事 中 評 価																		
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">今 後 の 方 向 性</td> <td>成 果 的 拡 充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>現 状 維 持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮 小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休 廃 止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充	②	⑤	⑦	現 状 維 持	③	⑥	⑨	縮 小	④	⑧	⑩	休 廃 止	①		
今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充		②	⑤	⑦													
	現 状 維 持		③	⑥	⑨													
	縮 小		④	⑧	⑩													
	休 廃 止	①																
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性																	

評価年度	
------	--

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック																

課 題 (CHECK)																記号の定義	A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要
																前年度総合評価判定	
																前年度評価シート整理番号	03020117

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
	前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (ACTION)	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	成 果 的 拡 充					成 果 的 拡 充				
今 後 の 方 向 性	現 状 維 持					現 状 維 持				
	縮 小					縮 小				
	休 廃 止					休 廃 止				
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				

改革・改善策		
--------	--	--

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両角直樹
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	休日・夜間診療体制確保事業	事業期間	平成 27 ~ 28 年度	整理番号	03020118	
担当部署	健康福祉部 保健課	健康福祉係	作成担当者名	森井潤	連絡先	326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 06 第6節 地域医療の充実			
			細施策 01 地域医療の推進			
			事務事業 05 在宅当番医制運営事業（一次医療）緊急医輪番制運営事業（二次医療）			
	予算事業名	休日・夜間診療体制確保事業		会計コード	001 款 04 項 01 目 01 事業 06	
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	地域住民の休日における急病患者の医療の確保を図るため、諏訪郡医師会に委託している。 休日、夜間における入院治療を必要とする重症救急患者の医療の確保を図るため、病院当番医制の運営に要する経費の負担金。 休日における歯科診療を歯科医師会へ委託している。 夜間における小児の急病医療体制を確保する。					
現状と背景 （どうして）	休日、夜間において医療の確保は必要である。					
目的	対象	受益者 （誰のために）	地域住民			
	対象	対象 （直接働きかける）	地域住民			
的	意図 （どんな状態にしたいか）	休日、夜間における急病に対して、医療の確保を行う。				
手段・方法 （どうやって）	一次医療については諏訪郡医師会が、二次医療については諏訪医療圏の6病院（市立岡谷・諏訪湖畔・諏訪共立・諏訪赤十字・諏訪中央・富士見高原）が医療にあたる。 休日歯科診療は、諏訪郡歯科医師会へ委託し行う。 小児の夜間急病診療は、圏域の医師会があたる。					
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		市民への制度の周知	広報によるPR	回	掲載回数	12
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		休日診療日数	休日診療日数	日	診療日数	72
		小児夜間診療日数	小児夜間診療日数	日	診療日数	365

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
事業費等 (a)	円	15,069,475	15,126,148	17,911,431	18,634,106	19,001,000
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円					
地方債	円					
その他特定財源	円					
一般財源	円	15,069,475	15,126,148	17,911,431	18,634,106	19,001,000
職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	
正規職員	人					
嘱託職員	人					
臨時職員	人					
合計	人	0.10	0.10	0.10	0.10	
対象（者）数						
延利用（者）数 (b)						
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
受益者負担額	円					
市民一人当たりのコスト	円	268.00	270.00	320.00	333.00	339.00
活動指標	広報によるPR	目標	回	12	12	12
		実績	回	12	12	12
	達成率	%	-	100.00	100.00	100.00
	-	目標	-			
実績		-				
-	達成率	%	-	-	-	
	目標	-				
成果指標	休日診療日数	目標	日	72	72	72
		実績	日	72	72	73
	達成率	%	-	100.00	100.00	101.39
	小児夜間診療日数	目標	日	365	365	365
実績		日	365	365	365	
達成率	%	-	100.00	100.00	100.00	
備考						

事務事業名	休日・夜間診療体制確保事業	事業期間	平成	~	年度	整理番号	03020118
担当部署	健康福祉部	保健課	健康福祉係	作成担当者名	森井潤	連絡先	326

期	目標	実績	課題
第1期	地域住民の救急医療体制を維持する。	休日・夜間における医療の確保。	専門診療以外の患者への診療。
第2期	地域住民の救急医療体制を維持する。	休日・夜間における医療の確保。	専門診療以外の患者への診療。
第3期	地域住民の救急医療体制を維持する。	休日・夜間における医療の確保。	専門診療以外の患者への診療。
第4期	地域住民の救急医療体制を維持する。	休日・夜間における医療の確保。	専門診療以外の患者への診療。

事中評価																																									
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	<table border="1"> <tr> <td>今</td> <td>成果</td> <td>拡</td> <td>充</td> <td></td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>後</td> <td>の</td> <td>現</td> <td>状</td> <td>維持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>の</td> <td>方</td> <td>縮</td> <td>小</td> <td></td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>方</td> <td>向</td> <td>休</td> <td>廃</td> <td>止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>向</td> <td>性</td> <td colspan="6">皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	今	成果	拡	充		②	⑤	⑦	後	の	現	状	維持	③	⑥	⑨	の	方	縮	小		④	⑧	⑩	方	向	休	廃	止	①			向	性	皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性					
今	成果	拡	充		②	⑤	⑦																																		
後	の	現	状	維持	③	⑥	⑨																																		
の	方	縮	小		④	⑧	⑩																																		
方	向	休	廃	止	①																																				
向	性	皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性																																							
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）																																									

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点																A
チェック					4					4					4	

課題	委託料、負担金とも市町村の人口割りで算出するため、毎年負担が増えている。															記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
	前年度総合評価判定															
前年度評価シート整理番号																

総合評価	細施策評価前					細施策評価後					
	地域住民の救急医療体制が確立されている。	地域住民の救急医療体制が確立されている。									
前年度改革・改善策の実施状況	その他					前年度細施策評価における今後の方向性					

改革・改善の方向性（ACTION）	細施策評価前					細施策評価後									
	成果の方向性	拡	充		②	⑤	⑦	成果の方向性	拡	充					
休	廃	止	①				休	廃	止						
皆	減	縮	小	現	状	維	持	皆	減	縮	小	現	状	維	持
大	コ	ス	ト	投	入	の	方	大	コ	ス	ト	投	入	の	方
向	性	向					性	向							
性	性					性									
地域住民の救急医療体制確立のため、今後も実施する。	地域住民の救急医療体制確立のため、今後も実施する。														

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両角直樹
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名		諏訪中央病院組合負担金			事業期間	平成 25 ~ 年度	整理番号	03020209							
担当部署		健康福祉部	保健課	国保・年金係	作成担当者名	土橋 綾子	連絡先	322							
計	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり									
			施策	06	第6節 地域医療の充実										
	細施策		01	地域医療の推進											
	事務事業			-											
画	予算事業名					会計コード	001	款	04	項	01	目	01	事業	05
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	諏訪中央病院組合に対し、地域医療の充実と安定経営のために、総務省の基準に基づき茅野市負担分（85%）を拠出する。 看護専門学校については運営経費の茅野市負担分（85%）を拠出する。													
	現状と背景 (どうして)	加速する少子高齢化社会を迎え、医療をとりまく環境が変化しています。今後、医療施設も患者から選別される時代に備え安定的かつ継続的な医療を維持する必要があるため、老朽化の施設の改修及び基幹設備の更新を含めた抜本的な見直しが必要のため。													
	目的	対象	受益者 (誰のために)	諏訪中央病院組合（市民）											
対象		対象 (直接働きかける)	諏訪中央病院組合（市民）												
意図 (どんな状態にしたいか)		設備環境等の改善を図ることで、患者の立場に立った医療提供、医療と介護施設の連携、全人的医療の推進と高度医療の充実を図り地域医療に貢献する。また、諏訪中央病院組合の安定経営に寄与する。													
手段・方法 (どうやって)	諏訪中央病院組合														
	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値						
活動指標		地域医療の充実と安定経営	負担金の拠出	6	各会計へ年2回に分けて拠出				6						
成果指標		成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値						
経営安定		医業収支比率	%	(医業費用/医業収益) × 100				100							
経営安定		総収支比率	%	(総費用/総収益) × 100				100							

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)	
実施状況	事業費等(a)	円		417,759,000	411,945,000	385,127,000	364,558,000	
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円		417,759,000	411,945,000	385,127,000	364,558,000	
状況	職員数	人						
	正規職員	人						
活動指標	嘱託職員	人						
	臨時職員	人						
	合計	人						
	対象(者)数							
	延利用(者)数(b)							
	単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	-	7,463.00	7,359.00	6,880.00	6,512.00	
	成果指標	負担金の拠出	目標	6	6	6	6	6
			実績	6	6	6	6	6
達成率		%	-	100.00	100.00	100.00	-	
-		目標	-	-	-	-	-	
		実績	-	-	-	-	-	
達成率		%	-	-	-	-	-	
備考	医業収支比率	目標	%	100	100	100	100	
		実績	%	99	102	102	97	
	達成率	%	-	102.10	102.00	97.10	-	
	総収支比率	目標	%	100	100	100	100	
実績		%	98	101	82	98		
達成率	%	-	101.20	82.00	97.50	-		

備考：経常収支比率 H24 98.2%、H25 101.4%  
成果指標については、決算確定後でないため未入力

事務事業名	諏訪中央病院組合負担金	事業期間	平成 25 ~	年度	整理番号	03020209	
担当部署	健康福祉部	保健課	国保・年金係	作成担当者名	土橋 綾子	連絡先	322

期	目 標	実 績	課 題
第1期	地域医療の充実と安定経営	看護専門学校特別会計へ前期分の負担金を支払う。	地域医療の充実と安定経営のために、健全経営に努めていただく。
第2期	地域医療の充実と安定経営	諏訪中央病院事業会計、介護老人保健施設特別会計へ前期分の負担金を支払う。	地域医療の充実と安定経営のために、健全経営に努めていただく。
第3期	地域医療の充実と安定経営	看護専門学校特別会計へ後期分の負担金を支払う。	地域医療の充実と安定経営のために、健全経営に努めていただく。
第4期	地域医療の充実と安定経営	諏訪中央病院事業会計、介護老人保健施設特別会計へ後期分の負担金を支払う。	地域医療の充実と安定経営のために、健全経営に努めていただく。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 特になし。	今 成 拓 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 諏訪中央病院組合での事業実施に伴う、茅野市負担分を予算要求。	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	特になし。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	A															
前年度評価シート整理番号	03020232															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	地域医療の充実と安定経営のために、今後も事業継続の必要がある。	地域医療の充実と安定経営のために、今後も事業継続の必要がある。									
前年度改革・改善策の実施状況	-					前年度細施策評価における今後の方向性					

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	現状維持 引き続き事業を継続していく。	現状維持（コスト的には、増改築事業における起債償還額が増加となる） 引き続き事業を継続していく。								

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両角直樹
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	国保診療所特別会計繰出金	事業期間	平成 25 ~ 年度	整理番号	03020210
担当部署	健康福祉部 保健課	作成担当者名	土橋 綾子	連絡先	322

計 画 目 的 的 手 段 ・ 方 法 （ ど う や っ て ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり 施策 06 第6節 地域医療の充実 細施策 01 地域医療の推進 事務事業 -		
	予算事業名			会計コード 001 款 04 項 01 目 01 事業 09		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	茅野市国民健康保険診療所特別会計では地域の患者さんに必要な医療を提供し、また、地域医療の充実のため、リバーサイドクリニック・泉野診療所・北山診療所の3診療所を運営しています。会計方式は地方公営企業会計にて行い、独立採算が基本ですが、北山診療所開設の初期投資及びリバーサイドクリニックの患者数等の減少により医業収益が悪化しているため、診療所運営の安定を図り地域医療の充実を図る必要があるため、北山診療所の赤字相当額及び地方公営企業の繰出し基準を準用し医療機器の購入費に対する半額の繰出を行う。				
	現状と背景 （どうして）	診療所事業の主体となるリバーサイドクリニックの患者数は増加傾向ではありますが、無医地区で地元の要望により運営している泉野診療所は週1回、北山診療所は平成26年10月から常勤医師を配置し週5日で営業を開始したばかりで、安定した患者数は見込めません。患者数の減により平成22、23、24年度と3年連続の赤字決算となり、財政状況は厳しい状況である。				
目 的 的 手 段 ・ 方 法 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	受益者 （誰のために）	茅野市国民健康保険診療所を利用する地域の患者さん。				
	対象 （直接働きかける）	茅野市国民健康保険診療所特別会計				
目 的 的 手 段 ・ 方 法 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	意図 （どんな状態にしたいか）	茅野市国民健康保険診療所の安定した経営基盤による患者さんへの安定した医療サービスの提供と、経営的な余力による医療機器の充実に伴う医療の質の向上による患者サービス及び地域医療の確保。				
	手段・方法 （どうやって）	茅野市国民健康保険診療所特別会計				
評 価 指 標 の 作 成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
	活動指標	地域医療の充実と安定経営	繰出金の交付	回数		2
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
	成果指標	安定経営	医業収支比率	%	(医業費用/医業収益) × 100	100
成果指標	経営安定	総収支比率	%	(総費用/総収益) × 100	100	

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算又は決算額）	平成28年度事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円		19,281,000	16,691,000	21,458,000	22,944,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円		19,281,000	16,691,000	21,458,000	22,944,000	
職員数							
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人						
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	-	344.00	298.00	383.00	410.00	
活 動 指 標	繰出金の交付	目標	回数	2	2	2	2
		実績	回数	2	2	2	2
	達成率	%	-	100.00	100.00	100.00	-
	-	目標	実績	-	-	-	-
達成率		%	-	-	-	-	
成 果 指 標	医業収支比率	目標	%	100.0	100.0	100.0	100.0
		実績	%	83.4	94.2	88.8	92.0
	達成率	%	83.4	94.2	88.8	92.0	
	総収支比率	目標	%	100.0	100.0	100.0	100.0
実績		%	84.4	103.7	101.7	103.8	
達成率	%	84.4	103.7	101.7	103.8		
備考	成果指標については、決算確定後でないため未入力。						

事務事業名	国保診療所特別会計繰出金	事業期間	平成 25 ~	年度	整理番号	03020210
担当部署	健康福祉部	保健課	国保・年金係	作成担当者名	土橋 綾子	連絡先
						322

期	目 標	実 績	課 題
第1期	地域医療の充実と安定経営	なし	地域医療の充実と安定経営のために、適切な財政支援をしていく。
第2期	地域医療の充実と安定経営	なし	地域医療の充実と安定経営のために、適切な財政支援をしていく。
第3期	地域医療の充実と安定経営	病院の建設改良に要する経費(電子カルテリース料)の1/2相当額の繰出しを実施。 北山診療所に係る運営費の赤字相当額の繰出しを実施。	地域医療の充実と安定経営のために、適切な財政支援をしていく。
第4期	地域医療の充実と安定経営	病院の建設改良に要する経費(機器購入)の1/2相当額の繰出しを実施。	地域医療の充実と安定経営のために、適切な財政支援をしていく。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 北山診療所が平成26年10月から常勤の医師が配属され通常営業となり、患者数も増えてきている。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 医師の常勤化により、患者数も増えてはきているが、経費の増大の方が大きく、赤字は増額しているため増額で要求。 医療機器の購入に対する補助金は減額。	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A

課 題	特になし。	記号の定義 A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要
		前年度総合評価判定 A
		前年度評価シート整理番号 03020233

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
		診療所運営の安定を図り地域医療の充実を図るためには、今後も事業継続の必要がある。					診療所運営の安定を図り地域医療の充実を図るためには、今後も事業継続の必要がある。			
	前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	今 後 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	拡 充	②	⑤	⑦	成 果 の 方 向 性	拡 充		
		現 状 維 持	③	⑥	⑨		現 状 維 持			レ
		縮 小	④	⑧	⑩		縮 小			
		休 廃 止	①				休 廃 止			
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性		
改 革 ・ 改 善 策	現状維持 引き続き事業を継続していく。					現状維持 引き続き事業を継続していく。				

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両角直樹
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	一般（地域医療事業）	事業期間	平成 27 ~ 28 年度	整理番号	03020143	
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	森井潤	連絡先	326

計 画 目 的 的 手 段 ・ 方 法 （ ど う や っ て ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 06 第6節 地域医療の充実			
			細施策 01 地域医療の推進			
			事務事業	—		
予 算 事 業 名	地域医療推進諸経費事業			会計コード 001 款 04 項 01 目 01 事業 08		
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	診療所の管理・乳幼児健診・予防接種等予防業務への負担金、献血推進・准看護師養成等地域医療事業への負担金・諏訪地域献血推進協議会・長野県包括医療協議会・准看護学院運営費・地域医療学会・国保地域医療推進協議会・予防業務協力医師会・予防業務協力歯科医師会					
現状と背景 （どうして）	診療所の維持管理のため、地域予防業務のため、献血推進及び准看護師養成等のために。					
目 対 象	受益者 （誰のために）	市民				
	対象 （直接働きかける）	市民				
意 図 （どんな状態にしたいか）	気軽に診療所を受診していただき、安心して健診等を受けていただく。					
手 段 ・ 方 法 （どうやって）	診療所の管理は、地元高齢者クラブへ委託または職員により行う。 予防業務及び地域医療事業は、協議会等への負担金により行う。					
N （ 評 価 指 標 の 作 成 ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		診療所の管理	管理回数	回	管理回数	2
	成果指標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		協議会への負担金支払い	支払率	%	支払数÷請求数×100	100

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
事業費等 (a)	円		1,153,197	1,073,323	1,200,473	1,279,000
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円					
地方債	円					
その他特定財源	円					
一般財源	円		1,153,197	1,073,323	1,200,473	1,279,000
職員数	人		0.03	0.03	0.30	
正規職員	人					
嘱託職員	人					
臨時職員	人					
合 計	人		0.03	0.03	0.30	
対象（者）数						
延利用（者）数 (b)						
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—
受益者負担額	円					
市民一人当たりのコスト	円	—	21.00	19.00	21.00	23.00
D （ 活 動 指 標 ）	管理回数	目標	回	2	2	2
		実績	回	2	2	2
	達成率	%	—	100.00	100.00	100.00
	—	目標	—	—	—	—
実績		—	—	—	—	—
達成率	%	—	—	—	—	
O （ 成 果 指 標 ）	支払率	目標	%	100	100	100
		実績	%	100	100	100
	達成率	%	—	100.00	100.00	100.00
	—	目標	—	—	—	—
実績		—	—	—	—	—
達成率	%	—	—	—	—	
備考						

事務事業名	一般（地域医療事業）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020143
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	森井潤	連絡先	326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	診療所の管理 協議会等への負担金の支払い	診療所の草刈り 協議会等への負担金の支払い	特になし
第2期	診療所の管理 協議会等への負担金の支払い	協議会等への負担金の支払い	特になし
第3期	診療所の管理 協議会等への負担金の支払い	診療所の草刈り 協議会等への負担金の支払い	特になし
第4期	診療所の管理 協議会等への負担金の支払い	協議会等への負担金の支払い	特になし

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拓 充 後 果 の の 現 状 維 持 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B

課 題	湖東診療所の今後について	記 号 の 定 義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
	前年度総合評価判定 B 前年度評価シート整理番号 03020143	

細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
診療所の老朽化に伴い、今後のあり方について検討する必要がある。	診療所の老朽化に伴い、今後のあり方について検討する必要がある。
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性

今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
改 革 ・ 改 善 策	成 果 の 方 向 性 拡 充	② ⑤ ⑦
	成 果 の 方 向 性 現 状 維 持	③ ⑥ ⑨
	成 果 の 方 向 性 縮 小	④ ⑧ ⑩
	成 果 の 方 向 性 休 廃 止	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性
	負担金額の見直しを行う。	診療所の老朽化に伴い、今後のあり方について検討する必要がある。

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両角直樹
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	健康管理センター運営事業	事業期間	平成 27 ~ 28 年度	整理番号	03020128	
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	森井潤	連絡先	326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 06 第6節 地域医療の充実			
			細施策 01 地域医療の推進			
			事務事業	—		
	予算事業名	健康管理センタ運営事業		会計コード	001 款 04 項 01 目 01 事業 07	
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	保健事業に供するための施設管理及び運営費				
	現状と背景 （どうして）	もしもの場合の火災報知機の設置、足の不自由な人のためのエレベーターの設置等しているが、正確に作動するか定期的に点検する必要がある。また、暑い夏、寒い冬の健診等において、快適に受診していただくため空調機の燃料が必要である。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	市民			
		対象 （直接働きかける）	市民			
		意図	安全、安心して健診・予防接種等を受けていただく			
	手段・方法 （どうやって）	専門業者に委託して、定期点検を行ってもらう。 設置済みの空調機を使用して、適温に設定する。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		点検により安全の確認	点検実施率	%	点検回数÷点検依頼回数×100	100
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		不具合を出さない	不具合数	回	不具合の発生回数	0

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円		6,307,683	4,370,958	4,047,261	4,811,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円		6,307,683	4,370,958	4,047,261	4,811,000	
職員数	人		0.01	0.01	0.01		
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人		0.01	0.01	0.01		
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	—	113.00	78.00	72.00	86.00	
D （ ）	活動指標	点検実施率	目標	%	100	100	100
			実績	%	100	100	100
	達成率	%	—	100.00	100.00	100.00	
	—	目標	—				
—	実績	—					
—	達成率	%	—	—	—	—	
O （ ）	成果指標	不具合数	目標	回	0	0	0
			実績	回	1	0	2
	達成率	%	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
	—	目標	—				
—	実績	—					
—	達成率	%	—	—	—	—	
備考							

事務事業名	健康管理センター運営事業	事業期間	平成	~	年度	整理番号	03020128
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	森井潤	連絡先	326

期	目標	実績	課題
第1期	車検、調理室の換気扇清掃、巡回清掃を行う	車検、調理室の換気扇清掃、巡回清掃	これからの暑い時期に向けて、省エネ意識を更に高める
第2期	エレベーター点検、巡回清掃、定期清掃を行う	エレベーター点検、巡回清掃、定期清掃実施	不具合箇所の早期発見と対応
第3期	管内の適温管理	過剰な暖房を防止	必要箇所の暖房(適温)コントロール
第4期	管内の適温管理	過剰な暖房を防止。空調設備リモコン不具合対応。 2F男子トイレ便座不具合発見・対応	必要箇所の暖房(適温)コントロール

事中評価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今後の方向性 ① 皆減 ② 縮小 ③ 現状維持 ④ 拡大 ⑤ 皆減 ⑥ 縮小 ⑦ 現状維持 ⑧ 拡大 ⑨ 皆減 ⑩ 縮小 ⑪ 現状維持 ⑫ 拡大 コスト投入の方向性
不具合箇所の早期発見と対応	
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)	
軽微な異常でも早めに対処をし、事態の拡大を防ぐ。	

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点					4			レ		3					4	B
チェック					4			レ		3					4	

課題	燃料費の高騰	記号の定義 A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要
	前年度総合評価判定	
	前年度評価シート整理番号	03020128

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	乳幼児が裸で健診を受けるため、適温を維持する必要がある、なかなか経費削減には結びつかない。	乳幼児が裸で健診を受けるため、適温を維持する必要がある、なかなか経費削減には結びつかない。					乳幼児が裸で健診を受けるため、適温を維持する必要がある、なかなか経費削減には結びつかない。			
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性					前年度細施策評価における今後の方向性				

改革・改善の方向性(ACTION)	細施策評価前					細施策評価後				
	健診等終了直後に空調の電源を落とすように心掛ける。	健診等終了直後に空調の電源を落とすように心掛ける。					健診等終了直後に空調の電源を落とすように心掛ける。			
今後の方向性	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ① 皆減 縮小 現状維持 拡大 コスト投入の方向性					② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ① 皆減 縮小 現状維持 拡大 コスト投入の方向性				

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両角直樹
---------	------------	---------	------	------